

愛知の土地改良

□ 新年を迎えて	会 長 中野 治美	2
□ 新春を迎えて	愛知県知事 大村 秀章	3
□ 新年を迎えて	参議院議員 進藤 金日子	4
□ 「闘う土地改良」-未来への礎を築くために-		
	全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎 雅夫	5
□ ご挨拶	愛知県農林水産部農林基盤局長 勝又 久幸	6
□ 設立60周年記念式典		7
□ 第15回愛知県土地改良事業物故功労者慰霊祭並びに 第15回愛知県土地改良事業推進大会		10
□ 叙 勲		12
□ 農業農村整備の集い		13
□ 平成31年度農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施		14
□ 農業用排水機県営移管期成同盟会要請活動を実施		16
□ 第41回全国土地改良大会 宮城大会		16
□ 農地・水・環境のつどい		18
□ 土地改良区体制強化事業情報		18
□ 研修会		20
□ 第17回あいちの農業・農村フォトコンテスト		23
□ 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2018		25
□ 弥富市三ツ又池釣り大会		27
□ お知らせ		27
□ 迎 春		28

No.
194
平成31年1月1日

みどり
水土里ネット愛知
発行/愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市西区栄生一丁目18番25号
電話(052)661-3811(代)



朝焼けに包まれた田園風景(幸田町)

第17回あいちの農業・農村フォトコンテスト
水土里のフォト大賞作品

新年を迎えて



愛知県土地改良事業団体連合会
会長 中野 治美

新しい年の初めにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

平素は、本会の運営及び農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げますとともに旧に倍するご高配とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本年は天皇陛下が4月30日にご退位され、皇太子殿下が翌5月1日にご即位されます。天皇陛下のご退位は約200年ぶりのことであり、憲政史上初めてのできごとです。

天皇陛下のご退位と皇太子殿下のご即位が国民の祝福の中でつつがなく執り行われますようお願い申し上げます。

昨年とは本会の設立60周年の年でございました。その記念行事として、10月に愛知県土地改良会館において、本会設立60周年記念式典を挙行いたしました。

また、11月には真宗大谷派名古屋別院におきまして、土地改良事業物故功労者のご供養と土地改良関係者の総意を国並びに県当局に強く要望するために、第15回土地改良事業物故功労者慰霊祭並びに土地改良事業推進大会を開催いたしました。いずれも皆様方の絶大なご協力を得て、極めて盛大に執り行うことができましたことを改めて御礼申し上げます。

土地改良をとりまく情勢は今、大きな転換期を迎えております。土地改良区の運営基盤の強化を

図ることを目的に、昨年、土地改良法の改正が行われ、土地改良区における准組合員制度の創設、総代会設置の要件緩和、貸借対照表の作成や員外監事の導入などが盛り込まれました。

また、農業・農村では、過疎化、高齢化、担い手不足等による農地の荒廃や、農業用水等の管理及び営農の継続への影響が懸念されております。そのような状況のなか、土地改良施設は老朽化が進行し、各地で頻発する豪雨災害や巨大地震への対策等、防災・減災に資する農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であり、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

本会においては、昨年6月に農林水産省と関係国会議員、10月には財務省、さらに11月にも農林水産省、関係国会議員、愛知県知事及び関係愛知県議会議員に対して、土地改良法改正に伴う土地改良区への支援制度や土地改良事業予算の措置について、積極的に要請活動を行ってきたところでございます。

水土里ネット愛知は、会員の皆様方のご意見等を反映しつつ、業務運営に一層の鋭意努力をしてみたいと考えております。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げます。平成最後の新年のご挨拶といたします。

新春を迎えて



愛知県知事

大村 秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、皆様方にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、2022年度のオープンを目指すジブリパークの基本デザインを発表し、夢の実現に大きく前進した年でした。また、2026年アジア競技大会の開催都市契約を締結し、開催に向けた準備が加速した年でもありました。

そして、2027年度のリニア開業に向け、大交流圏の拠点として、道路ネットワークの充実など、愛知のポテンシャルを一層高めてきた1年でした。

時代は今、グローバル化とデジタル化の大きなうねりの中にあります。そうした変革期においても、愛知は、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていく存在でなければなりません。

今年も、次世代自動車や航空宇宙、ロボットを始め、ICTやAIなどのデジタル分野まで、幅広く産業集積を進めるとともに、スタートアップ支援に戦略的に取り組むことで、世界一の産業の革新・創造拠点を目指してまいります。

また、9月に開業する愛知県国際展示場を核とした国際観光都市の実現に取り組むとともに、幅広い分野でグローバル化を進め、愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

そして、社会インフラの整備、農林水産業の振興、女性の活躍、医療・福祉、教育・人づくり、環境、防災、東三河地域の振興にも力を注いでまいります。

こうしたなか、農林水産業においては、TPP11等の発効を踏まえ、2020年度を目標年度とする「食と緑の基本計画2020」における、本県の強みや特長を生かした12の重点プロジェクトに基づき、農業・畜産の体質強化を始めとする、競争力の高い農林水産業の実現を目指した効果的な施策の展開を図ってまいります。

とりわけ、中部地区最大の農業県を支えている農業水利施設の、大規模自然災害への備えを強化していくため、基幹的な農業用排水機場などの更新整備や耐震対策、防災重点ため池の耐震及び豪雨対策などに、今後も重点的に取り組んでまいります。

また、農地の集積・集約化を図るため、農地中間管理機構と連携した基盤整備を推進するとともに、将来に亘り農地の生産性を維持するため、農業水利施設などの適期、適切な整備・更新に一層力を注いでまいります。

加えて、今年6月には、尾張旭市と名古屋市に広がる愛知県森林公園において、本県で40年ぶりの第70回全国植樹祭が開催されますので、その成功に向け開催準備に万全を期してまいります。

さらに、あいちトリエンナーレ、ラグビーワールドカップ、技能五輪全国大会・全国アビリンピック、G20外務大臣会合の開催についても、しっかりと準備を進め、大いに盛り上げてまいります。

引き続き、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年を迎えて



参議院議員

進藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。昨年は、自然災害が頻発した年でした。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。平成最後の年となる今年も、「平成」の由来の如く「地平天成」（地平らかにして天なる：国の内外、天地とも平和が達成される）の年になることを強く願いたいと思います。

さて、昨年末に平成30年度第2次補正予算と平成31年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,451億円（30年度補正：1,488億円、31年度当初：4,964億円）を確保することができました。これもひとえに、農業改革の推進に不可欠な土地改良の実施に向けた現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を、政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。予算は、人任せでは確保できない、自ら汗をかき実働して確保する、まさに「闘う土地改良」の成果であると言えます。この貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、何と言っても「国土強靱化」に重点が置かれたことです。重要インフラの緊急点検等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」として補正と当初を合わ

せて1,091億円計上され、制度的にも防災重点ため池整備等で大幅な拡充がなされました。また、ここ2回にわたる土地改良法の大改正を踏まえ、土地改良区の複式簿記の義務化等に対応した土地改良区体制強化事業が整備されるなど、現場の声に即した具体的な対応策も示されました。農業競争力強化関係でも現場の実態に即した要件設定やハードとソフトの連携強化策などが盛り込まれています。今回の予算は、土地改良の原点である現場重視の視点が更に強化されたものとなっています。この貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫（まさお）さん（全国水土里ネット会長会議顧問）も「土地改良は未来への礎」を訴えて全国各地を精力的に巡回しています。宮崎さんと私が皆様と連携して「闘う土地改良」を共闘できるようにご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

本年も引き続き皆様と一緒にあって諸課題の解決に向けて専心努力してまいります。本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

「闘う土地改良」 —未来への礎を築くために—



全国水土里ネット会長会議顧問
宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私にとっては、いよいよ決戦の年となりました。

全国の関係者の皆様の土地改良に対する熱い思いに触発され、全国水土里ネットの二階俊博会長が提唱された「闘う土地改良」の旗のもと、不退転の覚悟で政治活動に取り組むことを決意し、一昨年末、30年間勤めた農林水産省を地域整備課長を最後に退職しました。昨年1月には全国水土里ネット会長会議顧問を仰せつかり、この一年間、全国各地で地域の実情や意見をつぶさに拝聴させていただきました。これまでの移動距離は地球5周分の20万kmになりました。

昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震をはじめとする地震、台風、さらには噴火など、全国各地で自然災害が相次ぎました。被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願ってやみません。また、被災地の状況をお聞きするたびに、防災・減災対策は一刻の猶予も許されないとの思いを強くしています。

私の実家は兵庫県の農家です。田んぼや山に囲まれて育ちましたが、この一年全国を訪問する中で、450万haの農地と40万kmに及ぶ農業用水路・排水路、そしてこれを支える土地改良組織が一体となって、食料の安定供給と多面的機能の発揮を通じ、国民の食とくらしを支えていることを改めて実感しました。

土地改良は、先人が創り上げてきた農地やかん

がい排水施設などをそれぞれの時代に応じて整備を行い、次の世代に引き継いでいくシステムです。つまり、土地改良は、現在の農業の発展はもとより、日本の「未来への礎」を築くものであると考えています。

私は、現場でお聞きした様々な課題を解決し、日本のすばらしい農山漁村を「未来への礎」として、子どもや孫たちに引き継いでいくため、「大切な農地と水を守る」「農山漁村を災害から守る」「美しい農山漁村を守る」という3つの目標のもと、これを実現するため、土地改良の安定的な予算確保や災害に強い農山漁村づくりなど、7つのチャレンジに全力で取り組んでいく考えです。

とりわけ土地改良予算については、「闘う土地改良」の旗のもと、関係者の努力により回復基調にはありますが、地域の切実な要望に応えるためには、当初予算の回復・拡大が必要です。国政の場において、進藤金日子議員が「闘う土地改良」の先陣を担っておられますが、私もその一翼となれるよう、全身全霊をもって活動に打ち込んでいく考えです。そして、現場と国政の間を、私の好きなテニスのボールのように素早く往復し、現場の声を施策に反映していきたいと考えています。

今年天皇陛下が御退位され、元号が変わる大きな節目の年です。新しい時代の始まりの年でもあり、皆様の土地改良に対する熱い思いを実現すべく大きく羽ばたく年にしなければなりません。

むすびに、本年が皆様にとって実り多き年となりますように祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

ご挨拶



愛知県農林水産部農林基盤局長

勝又 久幸

あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、会長の中野様を中心に、県政の発展に多大な御支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、節目の年として様々な記念行事が執り行われました。まず、豊川用水では通水50周年を迎え、6月に「通水の日記念イベント」、8月に「あいちの農業用水展」、9月には「記念式典」が盛大に開催され、東三河地域の農業、工業の飛躍的な発展の原動力となるとともに、水道の普及による生活の向上にも大きく寄与してきた豊川用水が、未永く本県の宝としてその役割を果たすよう、地域の皆様を始め、多くの県民の方々に向けて水の大切さを発信いたしました。

また、貴連合会におかれましては設立60周年を迎えられ、10月に開催された「記念式典」では、本県の土地改良のあゆみを振り返り、日本の土地改良を先導してきた先人達の偉業に敬意を表するとともに、貴連合会と県がしっかりと手を携え、農業農村整備事業を一層力強く推進していくことが改めて決意されたところであります。

一方で、昨年は、ため池32カ所の決壊被害が発生した7月の西日本豪雨を始め、台風や地震による自然災害が多数発生し、防災・減災の大切さを強く意識した1年でもありました。

国は、近年の集中豪雨、気温上昇など気象の急激な変化に対応するため、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を今後3年間で集中的に実施することとしております。県としても、決壊した場合に人的被害を与えるおそれのある防災重点ため池の耐震及び豪雨対策や、農地のみならず地域全体を洪水被害から守る基幹的な農業用排水機

場の更新整備と耐震対策など、ハード、ソフト両面から国土強靱化に資する安全・安心な県土づくりを強化してまいります。

さて、今年は、新元号へと変わり、新たな時代がスタートします。国においては、昨年6月に閣議決定した経済財政運営の指針となる「骨太の方針」に、「農林水産新時代の構築」として土地改良事業の強化を明記されました。こうしたなか、農業農村整備関係予算は、平成30年度補正予算で1,488億円が確保され、平成31年度当初予算については、前年度を上回る4,964億円が見込まれております。着実に予算が回復しておりますが、地域のニーズに応じた事業実施には、安定的な当初予算が必要不可欠でありますので、計画的な事業実施に必要な予算の確保に努めてまいります。

また、2年連続で土地改良法が改正され、土地改良事業及び土地改良区の在り方が大きく見直されました。県といたしましても、農地中間管理機構との連携による農地の集積・集約化や、都市化・混住化の進展に伴い地域の実情に応じた適切な管理が求められている土地改良区への適切な支援など、地域の特性を活かした農業経営並びに管理体制が構築されるよう推し進めてまいります。

貴連合会におかれましては、今後とも本県の農業農村整備の推進に一層の御尽力をいただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、多面的機能を有する農地や農業用水等の保全管理、土地改良区の新たな体制づくりに御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々の御発展と会員各位の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

設立60周年記念式典 開催



10月10日、設立60周年記念式典を愛知県土地改良会館7階大会議室において、土地改良関係者約240名の参集のもと盛大に挙行了た。

式典は、二部構成で第一部では、小久保三夫副会長の開式の辞に始まり、中野治美会長が「本会は、昭和32年の土地改良法の改正により、前進である愛知県土地改良協会を引き継ぎ昭和33年4月1日に設立され、時代の要請に応じながら、県内土地改良事業の中心的な推進母体としてその責務を遂行し、本年、めでたく60周年という節目を迎えることができました。人間に例えますと、還暦を迎えたわけであります。顧みますとこの間、設立間もなく伊勢湾台風が襲来するなど幾多の苦難の道を歩みながらも、多くの諸先輩の懸命なご尽力、また、関係機関の温かいご指導・ご高配を賜りながら、会員各位のご理解、ご協力のお陰で順調に推移し、今日のような確固たる組織を築くことができました。改めて御礼申し上げます。60年間の土地改良事業を巡る動きは目まぐるしいものがありました。本会といたしましても、事業の変遷に合わせ、時々の課題に対応した施策の実現に向け、会員各位と連携し積極的に取り組んできたところであります。ほ場整備、集落排水等の整備のほか、防災・減災事業、多面的機能支払交付金の推進にも取り組み、地域資源の保全や地域のコミュニティづくりにも力を注いでいるところであります。さらに、昨年度から2年続けて行わ



中野会長挨拶



大村知事による祝辞

れました土地改良法の改正により、昨年度は土地改良制度の見直し、今年度は土地改良区の組合員資格の拡大、総代会及び財務会計制度の見直しなど新たな土地改良区の在り方についても大きな改革を求められているところであります。こうした中、土地改良事業の一翼を担う本会の責務は極めて重要であり、新たな制度に対応した農業基盤整備を推進するとともに、土地改良区の運営や体制の強化について、国や県からのご指導をいただ



全土連会長表彰受賞の皆様方



愛土連会長表彰受賞の皆様方

8ページへ続く

ながら会員各位の付託に応えるため、全力を傾けてまいりたいと決意を新たにしております。この式典が、本会設立の精神に立脚し、農業・農村の未来に向かって、新しい決意のもとに新たな飛躍への機会となれば誠に意義深いものとなると考えております。」と主催者挨拶をされた。

続いて、設立60周年記念表彰に移り、長年に亘り土地改良事業の推進や業務運営にご尽力いただいていた土地改良区の役職員の方々に対して、全国土地改良事業団体連合会長表彰として15

名の方に、二階俊博全国水土里ネット会長(代理小林祐一全国水土里ネット専務理事)から、愛知県土地事業団体連合会長表彰として78名の方に、中野会長からそれぞれ賞状と記念品が贈られた。

その後、大村秀章愛知県知事、進藤金日子参議院議員、松川浩明愛知県議会議長、幸田淳東海農政局長、二階俊博全国水土里ネット会長(代読小林専務)より来賓祝辞をいただいた後、ご臨席いただいた来賓の紹介、祝電の披露がなされ、最後に川上万一郎理事の閉式の辞により第一部は終了した。

第二部では、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問が「農業農村整備の今後の展開方向」をテーマに、「土地改良は現在の農業農村だけでなく、次の世代の礎を築くものである。農地・水といった地域の貴重な資源を守り、日本の農山漁村を子ども・孫たちの世代に繋げていかなければならない。『土地改良は未来への礎』である」と講演された。



全土連会長表彰受賞者代表の
吉川靖雄八開村土地改良区理事長



愛土連会長表彰受賞者代表の
杉本吉視神野新田土地改良区事務局長



宮崎全国水土里ネット会長会議顧問記念講演



設立60周年記念式典



設立60周年記念誌



あいちの農業・農村
フォトコンテストALBUM

土地改良事業功労者名簿 (敬称略・順不同)

全国土地改良事業団体連合会 会長表彰

氏名	所属団体	氏名	所属団体
【名古屋支会】 山田 覚	茶屋新田土地改良区	【岡崎支会】 加藤 貢	碧南市土地改良区
【一宮支会】 吉原 徳治	入鹿用水土地改良区	内田 利勝	東阿知和土地改良区
川井 貞二	宮田用水土地改良区	【幡豆支会】 倉谷 佳孝	幡豆土地改良区
【海部支会】 横江 好明	神守土地改良区	鈴木 孝誠	幡豆土地改良区
吉川 靖雄	八開村土地改良区	【豊田支会】 小寺 繁文	みよし土地改良区
【半田支会】 中山 利治	西之口土地改良区	鈴木 勝文	豊田土地改良区
伊藤 正治	知多市土地改良区	【豊橋支会】 日比 敏雄	松原用水土地改良区
		石黒 規吉	豊川市土地改良区

愛知県土地改良事業団体連合会 会長表彰

氏名	所属団体	氏名	所属団体
【一宮支会】 内藤 文裕	宮田用水土地改良区	【岡崎支会】 山田 和史	明治用水土地改良区
長谷川 英幸	宮田用水土地改良区	大谷 利夫	明治用水土地改良区
伊神 典利	宮田用水土地改良区	大岩 月卓	明治用水土地改良区
木村 功彦	宮田用水土地改良区	鳥居 卓司	明治用水土地改良区
寺西 清彦	宮田用水土地改良区	江川 哲巧	明治用水土地改良区
岡部 敏彦	宮田用水土地改良区	本田 巧良	明治用水土地改良区
山田 圭介	宮田用水土地改良区	神谷 良博	明治用水土地改良区
柴田 泉已	宮田用水土地改良区	中根 知章	明治用水土地改良区
丹羽 勝洋	宮田用水土地改良区	【幡豆支会】 北村 佳信	矢作川南部土地改良区
小後 藤寿	宮田用水土地改良区	山崎 和孝	矢作川南部土地改良区
奥田 広道	宮田用水土地改良区	山本 浩之	矢作川南部土地改良区
【海部支会】 稲垣 忠明	海部津島水利事務所	松田 敏也	矢作川南部土地改良区
加藤 弘二	海部津島水利事務所	【豊田支会】 野場 嘉輝	豊田土地改良区
原谷 匡伯	海部津島水利事務所	澤田 高子	豊田土地改良区
高橋 顕一	立田輪中悪水土地改良区	【豊橋支会】 杉本 吉視	神野新田土地改良区
堀原 謙二	立田村土地改良区	中根 隆男	蒲郡市土地改良区
【半田支会】 磯貝 征夫	愛知用水土地改良区	藤井 節子	豊橋開拓土地改良区
倉田 仁	愛知用水土地改良区	泉重 子	豊橋開拓土地改良区
大岩 利昌	愛知用水土地改良区	小田 晴己	豊橋南部土地改良区
大岡 昌清	愛知用水土地改良区	小林 正幸	豊川総合用水土地改良区
佐原 保修	愛知用水土地改良区	本多 菊弘	豊川総合用水土地改良区
久保 木聡	愛知用水土地改良区	鈴木 良典	豊川総合用水土地改良区
岡本 昌隆	愛知用水土地改良区	安田 久男	豊川総合用水土地改良区
早川 厚和	愛知用水土地改良区	杉浦 太一	豊川総合用水土地改良区
青木 由味	愛知用水土地改良区	石川 順孝	豊川総合用水土地改良区
石川 由味	愛知用水土地改良区	久米 典子	豊橋西部土地改良区
澤野 廣太	愛知用水土地改良区	山田 明雄	田原市土地改良区
大野 崎善	愛知用水土地改良区	岡本 雄枝	田原市土地改良区
平岡 政宏	愛知用水土地改良区	山内 敬太	田原市土地改良区
畑中 美智	愛知用水土地改良区	千賀 幸博	田原市土地改良区
飯味 美智	愛知用水土地改良区	大久保 靖幸	田原市土地改良区
		渡邊 義明	田原市土地改良区
		森下 美満	田原市土地改良区
		河合 茂代	田原市土地改良区
		森下 茂代	田原市土地改良区
		彦坂 房	田原市土地改良区

第15回 愛知県土地改良事業物故功労者慰霊祭執行

物故功労者295柱の御霊を慰霊

11月16日午後2時より、真宗大谷派名古屋別院において、第15回愛知県土地改良事業物故功労者慰霊祭を、約70名のご遺族と600名余の土地改良事業関係者のご出席のもと、盛大且つ厳かに執り行った。

慰霊祭は小久保三夫副会長の開式のことばに始まり、僧侶、導師入堂の後、参加者一同が合掌を行い、御霊を慰霊するための読経が流れる中、施主 中野治美会長の焼香に続いて、遺族代表故白木実夫鍋田土地改良区元理事長（本会前代表監事）ご遺族の白木実千代様、大村秀章愛知県知事（代理・勝又久幸愛知県農林基盤局長）、進藤金日子参議院議員、幸田淳東海農政局長、松川浩明愛知県議会議長、渡辺博之水資源機構中部支社長、



中野会長施主追悼のことば

宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問、各支会の会員代表者、ご遺族、来賓、役員全員の焼香がなされた。

僧侶、導師退堂の後、中野会長より施主追悼のことばを、続いて、大村愛知県知事（代読勝又局長）、進藤参議院議員、幸田東海農政局長が、祭壇に祭られた295柱の物故功労者の方々の生前のお元気な姿を偲びつつ、追悼のことばを述べられた。

次に、遺族を代表して白木様から感謝のことばが述べられ、浜田一徳理事の閉式のことばで物故功労者慰霊祭は、終始厳かに執り行われた。

ここに私たち土地改良事業関係者は、故人のご遺志を継ぎ、一致団結して土地改良事業の推進に全力を捧げる決意を新たにすところである。



進藤参議院議員追悼のことば

第15回 愛知県土地改良事業推進大会を盛大に挙行

11月16日午後3時より、真宗大谷派名古屋別院において、第15回愛知県土地改良事業推進大会を挙行了した。

来賓として、大村秀章愛知県知事、進藤金日子参議院議員、松川浩明愛知県議会議長、幸田淳東海農政局長、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問、渡辺博之水資源機構中部支社長始め、東海農政局、愛知県農林基盤局から多数の幹部の方々



中野会長主催者挨拶

を迎え、本会役員及び県内各地域から参集した土地改良事業関係者600名余が出席した。

大会は、小久保三夫副会長の開会のことばに始まり、中野治美会長の主催者挨拶の後、土地改良事業功労者62名の知事表彰が行われた。大村愛知県知事より、受賞者代表の宮地計年木津用土地改良区理事長に知事感謝状と副賞が授与され、今後とも土地改良事業の推進にご尽力されることをお願いし、表彰を終えた。続いて、来賓祝辞として、大村愛知県知事、進藤参議院議員、松川愛知

県議会議長、幸田東海農政局長、宮崎全国水土里ネット会長会議顧問よりご祝辞をいただいた後、来賓紹介を行った。

この後、大会の議長に中野会長が選出され、各支会の代表から9項目の要望事項の提案がなされ、「土地改良事業推進に関する要望決議案」を山本信介専務理事が朗読し、満場一致で採択され、最後に、浜田一徳理事の閉会のことばで推進大会は終了した。



感謝状を授与される宮地理事長



推進大会会場

土地改良事業推進に関する要望決議(案)

農業・農村では、本格的な人口減少社会の到来により、過疎化、高齢化、担い手不足等による農地の荒廃や、農業用水等の管理及び営農の継続への影響が懸念され、激変する国際情勢や経済対策などの課題が山積するなど、農業、農村を取り巻く環境は大きく変化しつつある。

こうした中、土地改良事業により生産性の高い優良農地と安定した農業用水を確保することは、我が国の農業の基礎を支え、競争力を高め、強い農業を実現するうえで、ますます重要となっている。

また、東日本大震災や各地で頻発する集中豪雨の猛威を目の当たりにし、本県においては、南海トラフ地震への対策や、平成十二年の東海豪雨を教訓とした排水対策など、地域の防災・減災対策を担い、強靱な県土づくりに資する土地改良事業に対し、県民の要望は一層高まっている。

さらに本県の土地改良事業には、美しく快適な農村環境の形成や、農村地域における生物多様性の保全、農村の水資源を活用した小水力発電の普及など、環境先進県としての愛知を形作るものが求められている。

我々土地改良関係者は、貴重な資源である「水」と「土」を守り育み、地域の安全・安心を確保するため、土地改良事業が地域の合意に基づき、地域に密着した、真に必要な事業であることを強く訴えらるるとともに、「闘う土地改良」のスローガンの下、今後とも事業が着実に推進できるよう強く要望する。

記

- 一、土地改良事業は、農業の成長産業化に資するとともに、県民の命と暮らしを守り、地域全体の発展を支えていることから、国、県、市町村予算を積極的に確保し、国営事業、水資源機構官事業、県営、団体官事業を一体的に推進すること
- 一、担い手への農地集積、生産コストの低減、高収益作物の生産等、農業の構造改革を推進すること
- 一、地域に密着し、よりきめ細かい農業農村整備を進めるため、地元負担の軽減及び採択要件の緩和を図り、単独県費補助事業を推進すること
- 一、貴重な地域資源である農地、農業用水を保全し、農業の持つ多面的機能の発揮に寄与する多面的機能支払事業に対し、必要な支援措置を講ずること
- 一、土地改良団体の体制強化と事業推進体制を一層整備すること
- 一、土地改良施設維持管理に対する財政支援を拡充・強化すること
- 一、農村の地域資源を活用した小水力発電など、再生可能エネルギーの利用の普及に取り組むこと

右決議する。

平成三十年十一月十六日

第十五回愛知県土地改良事業推進大会

愛知県土地改良事業功労者名簿 (敬称略・順不同)

愛知県知事感謝状受賞者

氏名	所属団体	氏名	所属団体
【名古屋支会】		【半田支会】	
水野智見	西福田土地改良区	竹本清	愛知用水土地改良区
安井正敏	西福田土地改良区	山下元	知多南部土地改良区
小嶋一夫	小川土地改良区	野田明	美浜町土地改良区
小村瀬辰	小川土地改良区	平松輝	知多市土地改良区
安井男富	富田町土地改良区	【岡崎支会】	
山田政治	富田町土地改良区	阿部征	岩津用水土地改良区
穂積英一	木津用水土地改良区	河井克	岡崎市東部土地改良区
宮地計	木津用水土地改良区	内田忠	東阿知和土地改良区
【一宮支会】		山田美	碧南市土地改良区
村上親	西成土地改良区	杉浦好	油ヶ渕悪水土地改良区
真野清	西成土地改良区	渡邊周	刈谷土地改良区
木村康	西成土地改良区	天野有	安城土地改良区
岡部雅	入鹿用水土地改良区	岡田善	明治用水土地改良区
山田一	宮田用水土地改良区	成瀬賀	知立土地改良区
近藤隆	宮田用水土地改良区	志賀雄	幸田土地改良区
岩田公	宮田用水土地改良区	斎藤三	幸田土地改良区
松浦昇	犬山用水土地改良区	清水忠	幸田土地改良区
【海部支会】		【幡豆支会】	
立松久	弥富土地改良区	鈴木文	吉良土地改良区
坪内野	向島土地改良区	杉山正	吉良土地改良区
仲野廣	向島土地改良区	【豊田支会】	
黒田辰	八開村土地改良区	神谷峻	豊田土地改良区
住田宏	八開村土地改良区	山中延	旭土地改良区
田中藤	八立田村土地改良区	垣保重	藤岡土地改良区
伊藤剛	立田村土地改良区	【豊橋支会】	
伊村上	飛鳥土地改良区	鈴木靖	豊橋北西部土地改良区
室田藤	宝南悪水土地改良区	大牛田	牟呂用水土地改良区
佐藤正	七宝町土地改良区	山口康	松原用水土地改良区
伊都博	小切戸用悪水土地改良区	町田正	新城市土地改良区
高築	神守土地改良区	花井孝	豊川市土地改良区
犬橋	十四山土地改良区	河邊章	豊橋南部土地改良区
児玉	十四山土地改良区	高橋敏	豊橋西部土地改良区
			豊橋開拓土地改良区

叙 勲

旭日双光章

政府は平成30年11月3日付で平成30年秋の叙勲の受章者を発表しました。

本会会員からは、清水元久下山土地改良区理事長が旭日双光章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受賞を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお願いいたします。



清水 元久 氏
下山土地改良区理事長

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

11月14日、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバツハ・サポーで農業農村整備の集いが開催された。

この集いは、全国の土地改良関係者約1,100名が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に開催されたもので、本県からは、小久保三夫副会長を始め、本会会員、愛知県より28名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長は、「我々の背後には、国民の食料を確保するという尊い使命を帯びて頑張っておられる全国の農家の皆さんが常におられる。その方々の期待に、我々は応えなくてはならない」と力強く挨拶された。

続いて、吉川貴盛農林水産大臣は、「農林水産業は国の基であり、農業農村整備はその根幹を成す



二階会長挨拶

ものであります。今後とも、強い農業と美しく活力ある農村の実現に向け、皆様のより一層のお力添えをお願いします」と述べられた。

また、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員からは、「国会の中での連携、地方での連携、政策面でのすりあわせ、これらをしっかりととりながら、毎日田畑に出向き、食料供給のために汗をかかされている農家の皆様方のご労苦に応えていくことが原点だと思っています。今後も皆様方とともに、予算確保のために頑張っていまいります」と述べられた。

その後、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問より、各地域の土地改良区の情勢が報告された。

最後に、国に対して予算確保のための要請の提案・採択がなされた。



吉川農林水産大臣挨拶



進藤参議院議員挨拶



宮崎全国水土里ネット会長会議顧問による情勢報告

平成31年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

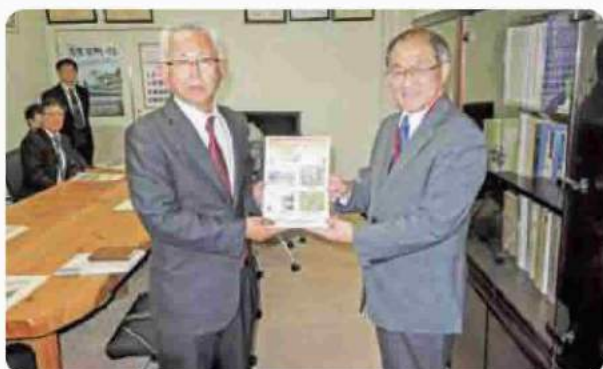
10月30日、中野治美会長、三浦孝司理事、山本信介専務理事、勝又久幸愛知県農林基盤局長より平成31年度農業農村整備事業に関する要請を、麻生太郎財務大臣を始め財務省に対し実施した。



麻生大臣に要請書を手交

11月6日午前、山本信介専務理事より平成31年度農業農村整備事業に関する21項目の重点要

請を、野原弘彦東海農政局農村振興部長を始め局幹部職員に対し実施した。



野原東海農政局農村振興部長に要請書を手交



東海農政局幹部への要請

11月14日午前、小久保三夫副会長、山本信介専務理事より、平成31年度農業農村整備事業に関する21項目の重点要請を、横井績農林水産省農村振興局整備部長を始め幹部職員に対し実施した。午後からは進藤金日子参議院議員及び愛知県選出の衆・参国會議員に対し、同内容の重点要請を実施した。



横井績農林水産省農村振興局整備部長に要請書を手交

11月30日午前、中野治美会長、山本信介専務理事より平成31年度農業農村整備事業に関する23項目の重点要請を、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請

15ページへ続く

その後、同内容の要請を大村秀章愛知県知事始め県執行部に対し実施した。

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおり。



大村知事に要請書を手交

要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

国においては、平成31年度の概算要求におきまして、農業農村整備関連予算について、前年度に対し957億円上回る額を要望しているところであります。

しかしながら、平成21年度当初比で91.9%にとどまっております。地域ニーズに応じた事業を展開するためには、農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠であります。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業生産額で全国3番手グループ、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、国営事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時

期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

一方で、本県は我が国最大規模のゼロメートル地帯を有する特殊な事情を抱えております。南海トラフで発生する大規模地震により、海岸堤防は沈下・崩壊し、津波到達前の浸水や津波による堤防流出による甚大な被害が想定されています。また、近年ゲリラ豪雨等も多発しております。そのため、防災・減災に資する農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であります。

また、今年度土地改良法の改正により、土地改良区の運営基盤の強化を図ることが求められています。運営基盤強化の円滑な推進のため、土地改良法の弾力的な運用や予算措置について、更なる配慮が必要と考えます。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて23項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

重点要請23項目

I 地域ニーズに応じた攻めの農業農村整備事業の展開について

- 1 農業農村整備事業の着実な推進について
- 2 基幹水利施設を管理する土地改良区への支援について
- 3 土地改良区制度の見直しに伴い新たに生じる負担への支援について
- 4 農業用ため池の耐震対策と豪雨対策を一体的に行う事業の創設について

II 国土強靱化に資する農業農村防災対策と力強い農業を支える農業生産基盤の整備について

- 1 農業の競争力強化に向けた農業基盤整備事業の促進について
- 2 国土強靱化に資する農村地域防災減災事業の促進について
- 3 ゼロメートル地帯の海部地域における木曾川用水施設の更新整備について
- 4 農地整備事業にかかる農業者の費用負担の軽減について
- 5 農業用排水路の老朽化及び長寿命化対策の促進について
- 6 特定農業用管水路等特別対策事業の促進について
- 7 農山漁村地域整備交付金の促進について

- 8 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 9 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について
- 10 農業用排水機場の適切な維持管理に対する支援について
- 11 単独土地改良事業等の推進について

III 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 4 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期事業化について
- 5 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着手について
- 6 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 7 水資源機構営 愛知用水三好支線水路緊急対策事業の推進について
- 8 水資源機構営施設の更新整備について

※国会議員、農林水産省には、IIの10、11を除く21項目を要請

農業用排水機県営移管期成同盟会要請活動を実施

11月30日、農業用排水機県営移管期成同盟会において、川上万一郎副会長、伊藤幸伸副会長、平野瞳副会長が、大村秀章愛知県知事を始め県執行



大村知事に要請書を手交

部並びに自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し排水機維持管理事業に関する要請を実施した。



大村知事を囲んで

要請書は次のとおり。

要請書

排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県管理を要望してまいりました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されましたが、このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、私どもが公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助して頂いているところであります。

現在、県営事業で計画的に農業用排水機の長寿命化や更新を行って頂いておりますが、近年、各地で台風や豪雨による災害が発生しており、農業用排水機の管理者の責任はますます増大していることから、より高度な点検・整備と運転体制の確保が必要であると実感しております。

しかしながら、排水機維持管理事業の県補助額につきましては、本来交付されるべき補助額に遠く及ばない状況が続いており、この状況が更に続けば、排水機の適正な維持管理が困難となり、ひいては地域の防災機能の脆弱化を招き、地域住民の生命と財産を守ることが極めて困難になると懸念しております。

また、経済産業省において、電力の小売自由化が全面自由化された平成28年4月以降も各電力会社が継続してきた農事用電力メニューの経過措置が、平成32年3月までとされていることから、仮に農事用電力メニューが撤廃された場合、農業水利施設の維持管理や土地改良区の運営に重大な影響を及ぼすことが懸念されます。

つきましては、こうした維持管理の現場における厳しい実情をおくみ取りいただき、排水機維持管理事業の予算確保及び農事用電力メニューの経過措置の継続に対し、特段のお取り計らいをお願い申し上げます。

第41回 全国土地改良大会 宮城大会

—先人の意思を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆 復興の歩み—

第41回全国土地改良大会宮城大会が、10月16日、宮城県利府町の県総合体育館(グランディ21)において、水土里ネット宮城、全国水土里ネットの主催及び農林水産省、宮城県等の後援により、大会テーマ「先人の意思を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆 復興の歩み」の下、全国の土地改良関係者約6,000名が参集し、盛大に開催された。

大会は、オープニングセレモニーとして、伊達武将隊による演舞、地元若手和楽器奏者達による奉納太鼓演奏、崎浜大漁唄込保存会による唄込が披露された。

オープニングセレモニーに続き、開会宣言、黙祷、国歌斉唱、その後、伊藤康志水土里ネット宮城会長による開催県挨拶がされた。引き続き、二階俊博全国水土里ネット会長が「東日本大震災から



二階全国水土里ネット会長主催者挨拶

の復旧に道筋を付け、営農再開した宮城の取り組みを、各地で頻発する自然災害からの復旧復興の模範にしたい。今後も『戦う土地改良』を掲げ、組織一丸となって関連予算の獲得に全力を挙げる」と主催者挨拶を述べられた。

続いて、村井嘉浩宮城県知事による歓迎のことは、小里泰弘農林水産副大臣、小野寺衆議院議員、進藤金日子参議院議員による来賓祝辞の後、大会に参加された来賓の方々が紹介された。

また、土地改理事業功績者表彰式が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改理事業団体連合会長表彰46名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。本県からは、農林水産大臣表彰に、恒川宣彦平和土地改良区理事長(本会理事)が、全国土地改理事業団体連合会長表彰に、佐藤幸男海東土地改良区理事長(本会理事)が表彰の栄に浴された。

式典の後半には、村井宮城県知事による基調講演、続いて室本隆司農林水産省農村振興局長による基調講演が行われた後、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問をコーディネーター、地元農業関係者をパネラーとして「東日本大震災における創造的復興への軌跡」と題した基調報告が行われた。

宮城県の優良地区事例紹介として、美里東部土地改良区(美里町)の「青生地区の農業農村整備～



巨理土地改良区「太陽光発電」



農林水産大臣表彰を授与される恒川理事長



全国土地改理事業団体連合会長表彰の佐藤理事長

高収益作物生産への挑戦～」と北上川沿岸土地改良区(石巻市)の「大川地区の復旧・復興の取り組み～壊滅的被害からの再生～」が紹介された。

次に大会宣言として、宮城県農業高等学校の島貫萌さん、寺崎大蔵さんから「先人たちの叢智(えいち)の結集であるかけがえのない農業・農村を守り、育み、水と土と里をしっかりと未来に引き継いでいく」という力強い宣言がなされた。その後の大会旗引継ぎにより、大会旗は次回開催の岐阜県に引き継がれ、大会は盛会裏に幕を閉じた。

翌17、18日には、視察研修会が、7コースに分かれ実施されたが、本会は、前日の15日に巨理土地改良区の「太陽光発電」「花笠第2排水機場」、大会翌日の17日に震災遺構「仙台市立荒浜小学校」、直轄災害復旧関連事業「仙台東地区」、名取市「日和山」を視察した。



直轄災害復旧関連事業「仙台東地区」の説明を受ける本会役員

農地・水・環境のつどい 開催

11月17日、愛三文化会館(大府市勤労文化会館)/もちのきホールにおいて、農地・水・環境のつどいを愛知県と水土里ネット愛知の共催で開催した。つどいは愛知県における、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰することを目的に、第1部の優良活動表彰会と第2部の講演会の2部構成により、毎年開催している。

今年度は第1部の優良活動表彰会で、大村秀章愛知県知事の主催者挨拶の後、3活動組織へ愛知県知事賞が授与され、中野治美会長より7組織へ愛知県土地改良事業団体連合会長賞の表彰が行われ、岡村秀人大府市長、野原弘彦東海農政局農村振興部長による来賓祝辞が述べられた。この後、愛知県知事賞を受賞した3組織の活動が活動組織より紹介され、第1部を終了した。

第2部の講演会では落語家の林家うん平師匠による「うん平の「それゆけ!アグリ」」という演題で講演が行われ、最後に、小久保三夫副会長の閉会挨拶で全てのプログラムを終了した。

受賞組織は、次のとおり

愛知県知事賞	
基礎活動部門	高御堂南地域環境保全会(稲沢市)
農村環境保全活動部門	有協の農地・水・緑を守る会(半田市)
創意工夫部門	幸田広域組織(幸田町)

愛知県土地改良事業団体連合会長賞	
基礎活動部門	北刈環境保全会(あま市) 浜屋の自然を守る会(安城市)
農村環境保全活動部門	一色町農地水広域協定運営委員会(西尾市) 野田・中市場の「農地・水・環境」を守る会(新城市) 西郷地域環境保全隊農地・水・環境保管理協定運営委員会(豊橋市)
創意工夫部門	東境地域資源保全隊(刈谷市) 宮口新田農地・水保全会(豊田市)



大村知事による主催者挨拶



会長賞を授与する中野会長

土地改良区体制強化事業情報

Ⅱ 換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会 Ⅱ

9月5日、11日、12日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会を開催した。東海農政局土地改良管理課、名古屋法務局、愛知県農地計画

課及び農業振興課から講師を招き、愛知県、市町村、水土里ネット、コンサルタント等の換地技術者が出席した。

II 換地関係異議紛争処理実務研修会 II

全国水土里ネット主催による同研修会が、11月9日、愛知県土地改良会館6階研修室において開催され、東海農政局、岐阜県、三重県、愛知県、稲沢市土地改良区、水土里ネット宮崎、水土里ネッ

トぎふ、水土里ネットみえ、水土里ネット愛知、全国水土里ネットから32名が出席し、事例について説明された後、活発な意見交換が行われた。

(敬称略)

(協議事項)

①換地を取り巻く状況について	東海農政局 土地改良管理課 土地改良指導官 田中 卓也
②換地関係異議紛争事例検討 岐阜県土連:所有者が権利者会議前に死亡し、相続人全員が相続放棄したことにより相続財産管理人の選任を行い換地処分登記を完了した事例 宮崎県土連:相続対象者が「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」「ストーカー行為等の規制等に関する法律」における支援措置対象者となっている事例	岐阜県土地改良事業団体連合会 換地専門監 後藤 幸夫 宮崎県土地改良事業団体連合会 事業部換地課係長 新地 裕樹
③中央換地センター報告 異議紛争の未然防止に係る啓発資料の作成企画について 他	全国土地改良事業団体連合会中央換地センター 所長 浦山 正四 参与 田村 英二 主査 田中 克哉

II 土地改良区体制強化事業技術実践向上研修会 II

平成30年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修会を平成30年12月5日から7日までの3日間、本会が主催で開催し、延べ108名が参加した。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町村職員及び水土里ネットの役職員の技術力向上を図るべく、土地改良区体制強化事業の一環として実施している。

開講にあたり、山本信介専務理事が挨拶を述べ、続いて来賓としてご臨席いただいた澤田清光愛知県農林基盤局農地整備課長より挨拶を頂き、研修に入った。

講師は、東海農政局、愛知県から、次頁カリキュラムにあるように当該事業を直接担当されている方々をお招きし、それぞれの内容で具体的に指導いただき有意義な研修となった。



山本専務理事による開講挨拶



栄斧取(さかえおのとり)揚水機場での現地研修

20ページへ続く

月日	研修内容	講師 (敬称略)
12月5日	農業農村整備事業を取り巻く 最新の動向と施策	東海農政局 農村振興部 設計課 農業土木専門官 谷本 忠義
	土地改良施設突発事故復旧事業について	東海農政局 農村振興部 水利整備課 管理調整官 阪部 正志
12月6日	災害復旧事業の概要 1・2	東海農政局 農村振興部 設計課 課長補佐(調整) 上村 行男
	会計検査の動向等	東海農政局 農村振興部 設計課 工事検査官 林 静二
	電気、水道の被災を想定した農業用 排水機場の対策マニュアルについて	愛知県 農林水産部 農林基盤局 農地整備課主任主査 大石 恭敬
	農業用ため池の防災減災対策について	愛知県 農林水産部 農林基盤局 農地計画課主査 加藤 夕詞
12月7日	小水力発電施設 西尾(西尾市)	矢作川沿岸土地改良区連合 事務局長 神谷 恵介
	栄斧取(さかえおのとり)揚水機場 ファーム Pond 太陽光発電施設(豊橋市)	幡豆農地整備出張所 建設課 課長補佐 岡島 哲也
		豊橋開拓土地改良区 理事長 小久保 三夫 事務局長 伊藤 隆広

研 修 会

■ 水土里ネット役員研修会

9月21日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、水土里ネット役員研修会を開催した。

受講対象者は土地改良区、土地改良区連合の役員で、76土地改良区147名の出席があった。

初めに宮林和男愛知県農林基盤局農地環境対策監

が挨拶され、次に山本信介専務理事より挨拶を行った。その後、東海農政局土地改良管理課及び愛知県農林基盤局農地計画課より説明がされた。

研修内容は次のとおり。

- 1 今回の不祥事件の概要
- 2 土地改良区等に関する主な不祥事件
- 3 役員の義務、監事の役割、事件にかかわる法令等制度
- 4 土地改良区検査の指摘事項
- 5 土地改良区検査の課題
- 6 再発防止対策



役員研修会

■ 水土里ネット事業視察研修会

10月30日～31日にかけて、農業農村整備事業の推進を図るため、43名の参加のもと、事業視察研修会を開催した。

30日には福井県福井市において、「芝原用水土地改良区」の研修、31日には福井県坂井市において、「九頭竜川鳴鹿土地改良区」の研修を開催した。

1日目の視察では、芝原用水土地改良区事務所において、林進事務局長より「団体営地域用水環境整備事業芝原用水地区」の説明及び「ニタ口小水力発電所」の現地説明を受けた。事務所内にある遠方水管理システムにより、リアルタイムに施設の状況把握ができることで職員の負担減につながっているとの説明があった。

2日目には、九頭竜川鳴鹿土地改良区事務所において、中山圭主事務局長の挨拶のあと、平田周一郎主査より、九頭竜川鳴鹿土地改良区の概要、九頭竜川下流農業水利事業の維持管理体制について説明を受けた。また隣接する鳴鹿大堰の視察及び同改良区敷地内に



芝原用水土地改良区事務所



ニタ口小水力発電所

あるパイプラインを立体化したモニュメントの見学を行った。両改良区において参加された方々は、それぞれの立場から熱心に質問され、地域での農業農村整備事業推進の参考にさせていただいた。

その後、今立郡池田町の農村観光化事業で整備された「かずら橋」の見学を行った。

研修会終了後のアンケートには、多くの方から「有意義な研修会であった」という意見をいただいた。



九頭竜川鳴鹿土地改良区



パイプラインモニュメント



かずら橋

■ 水土里情報システム利活用操作研修会

11月19日～22日に水土里情報システム利活用操作研修会を開催した。

今回は、①農地筆・耕区図の活用、②施設の更新・管理についての説明をした。

(参加団体:27団体 参加者:49名)

【研修内容】

①農地筆・耕区図の活用について

活用データを投入する為に、ユーザーレイヤを作成し、そこから出力したCSVデータに活用データを書き込む作業を、取込ツールにより簡単な操作でできる実習をした。

また、図形の編集及び印刷ツールによる図郭印刷の実習も行った。

②施設の更新・管理について

施設のレイヤを紹介し、ユーザーレイヤを使って関連ファイルの登録操作の実習を行った。



今後も、本システムを使って皆様の業務の効率化が図れるような実務的な内容について研修会を進めてまいります。

※取込ツールについては、本会ホームページにて配布していますので、ご活用下さい。

■ 農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会

11月21日～22日にかけて、静岡県にある「湛水防除事業昆沙門2期地区」に関連した昆沙門排水機場(伊豆の国市)及び株式会社電業社機械製作所(三島市)の事業視察研修会を開催した。

研修会には浜田一徳会長を始めとした同盟会役員等54名が参加、研修1日目の昆沙門排水機場では、静岡県東部農林事務所の清育朗班長、伊豆の国市の田内氏による東部管内の農業農村整備事業概要等の説明を受けた。

また2日目は、株式会社電業社機械製作所において、彦坂典男取締役上席常務執行役員による挨拶の後

に、会社概要説明、4グループに分かれてポンプ等の工場見学を行った。

参加された方々は、2日間にわたりそれぞれの立場から熱心に視察・質問され、地域における今後の農業用排水機の維持管理等の参考となる大変有意義な研修となった。



昆沙門排水機場



株式会社電業社機械製作所

第17回 あいちの農業・農村フォトコンテスト

～大賞・優秀賞・入選作品決定～

本会主催、愛知県後援の「第17回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を12月14日、愛知県土地改良会館7階大会議室で開催した。県内各地から、今回のテーマ「水土里が溢れる土地改良施設」を表現した作品307点(144名)の応募があった。

審査は、審査会規程第2条により実施され、8名の審査員による厳正な審査の結果、水土里のフォト大賞1点、水土里のフォト優秀賞2点、豊かな農地あいち特別賞1点、多面的機能共同活動特別賞3点、入選10点の合計17点が選考された。

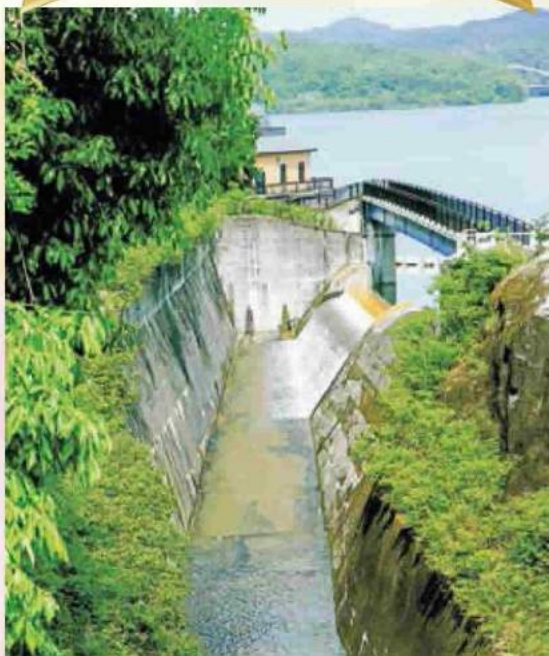
なお、入賞・入選作品の展示を次ページにより実施しますのでお立ち寄りください。



審査会

★水土里のフォト大賞「朝焼けに包まれた田園風景」(幸田町) 撮影者:岸川禎彦氏の作品は、表紙に掲載してあります。

水土里のフォト優秀賞



「五条川取水口ダム」(犬山市)
撮影者・増田 興次

水土里のフォト優秀賞



「幸せ家族」(安城市)
撮影者・高村 安麿

24ページへ続く

豊かな農地あいち特別賞



「はざ掛け大根」(田原市)
撮影者・丸山 純夫

多面的機能共同活動特別賞



「かいどりで喜ぶ小学生」(半田市)
撮影者・石川 紘二

多面的機能共同活動特別賞



「農業体験」(安城市)
撮影者・細井 哲雄

多面的機能共同活動特別賞



「川役風景」(岡崎市)
撮影者・六ツ美中部碧の会

【展示場所および期間】

展示場所	展示期間(予定)
県庁本庁舎・西庁舎の地下連絡通路	平成31年1月15日(火)PM~平成31年1月25日(金)AM
愛知県県民相談・情報センター(自治センター1階)	
海部県民相談室(海部総合庁舎1階)	平成31年2月、3月に展示する予定です。 詳細は総務部総務課までお問い合わせください。
西三河県民相談室(西三河総合庁舎1階)	
東三河県民相談室(東三河総合庁舎1階)	

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2018

～入賞・入選作品決定 本県応募作品のうち3作品が入賞、 28作品が入選～

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2018に、全国から6,284点の応募があった。

今回で19回目となる本絵画展は、「新発見！ぼくのわたしのふるさと」をテーマに、子どもたちに田んぼや農村に関心をもってもらい、田んぼや水路、ため池による水の循環や環境保全への理解をうながし、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として、平成12年度から全国水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催している。

有識者による厳正な審査の結果、入賞作品24点、入選作品163点、地域団体賞作品47点が決定した。本県からは、入賞3点、入選28点、地域団体賞9点が選ばれた。

なお、地域団体賞は、水土里ネット愛知用水、水土里ネット明治用水、水土里ネット油ヶ渚用水、水土里ネット豊田、水土里ネット豊川総合用水、茶屋新田地域資源保全隊が団体応募に参画し、水土里ネット愛知用水理事長賞1点、水土里ネット明治用水理事長賞1点、水土里ネット油ヶ渚用水理事長賞1点、水土里ネット豊田理事長賞等3点、水土里ネット豊川総合用水理事長賞等2点、茶屋新田地域資源保全隊賞1点を選考していただいた。

入賞 **日本政策金融公庫 農林水産事業本部長賞**



「おいしいいちごがいっぱい」 古橋杏珠 小1

入賞 **クマさんのふるさと賞**



「きれいなお水で育ったトマト」 岩本葉奈 小4

入賞 **不二家ファミリー 文化研究所賞**



「畑でやぎを見つけたよ。」 花園航世 小4



「いつもおいしいスイカありがとう」 柴田通世 5歳



「おいしいなとうもろこし」 塚本一護 5歳



「こんなになったよーおこもりのタイム」 浅野咲莉 5歳



「カリフラワーがいっぱいできたよ」 門田萌 5歳



「いっぱいとれたよ おいもほり」 辻田さくら 6歳



「きゅっりだいすき!!」 度會叶翔 6歳



「田んぼのまわりの草を刈るよーおこもりのタイム」 池田隼亮 小1

26ページへ続く



「水のながれる水車」
三好花歩 小2



「しゅうかくのとき」
織田瑞華 小2



「はっばであそべたよ」
米田和叶 小2



「あつむりの秋がきた」
岡田麗穂 小2



「田うえをするぼく」
山本柊羽 小2



「野菜。大きくなあれ！」
御宿星莉奈 小2



「まちにまった、ふるさとまつり」
椎野未彩季 小3



「おばあさんと柿の収穫」
神谷明里 小3



「青空の下でこんなにとれたよ」
塚本姫里 小3



「みんなでもみまき」
山田朝陽 小4



「いつになったらおばあさんのナス」
山崎日美 小4



「みんなで稲刈り楽しいな」
大宮瑠巳 小4



「にんじんの収穫」
山田紗菜 小4



「ひいおじいちゃんとの思い出」
渡辺葵 小5



「じいじの畑」
細井惟叶 小5



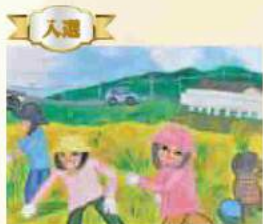
「命をつなぐ田植え」
長澤情吉 小5



「田んぼアート2018inニシオ」
寺島莞太 小5



「トンネルの中から見た田んぼ」
菊田鈴恩 小5



「稲刈り夕方まで頑張ったよ」
大森煌莉 小5



「明治用水頭首工」
築山結衣 小6



「みそたまり」
岸川京介 小6



「ジュリアン・アム・おじいちゃん」
酒井明彦 小6



「よろこびのしゅうかく」
伊藤朝陽 小3



「平成最後の田んぼアート」
兵藤佐彩 小5



「おじいちゃんの田んぼ」
村田凜 小5



「お米はおいしいね」
磯谷香穂 小2



「みんなでじゃがいもほり」
山田菜羽 小1



「棚田とトンボ」
高井心愛 小6



「緑いっぱい田んぼと木々」
佐久間琴和 小5



「かぶりの収穫」
加藤諒也 小6

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できますので平成31年度に向けてご検討いただければ幸いです。詳細は、総務部総務課まで問い合わせください。

弥富市三ツ又池釣り大会

10月13日、弥富市中部に位置する三ツ又池において、弥富市三ツ又池釣り大会が開催された。この大会は、愛知県と水土里ネット愛知で共催し、協賛団体として、弥富市、水土里ネット十四山、水土里ネット孫宝排水、愛知県農地水多面的機能推進協議会で執り行われた。

十四山地区中央部に位置する三ツ又池公園内の三ツ又池東岸にある多自然型護岸部約200mで開催され、弥富市民を中心に91名(一般41名、小学生50名)ほどが参加した。

開会式では、弥富市十四山総合福祉センター南側のデイキャンプ場で大村秀章愛知県知事、中野治美会長が挨拶され、その後、参加者は競技会場の三ツ又池へと移動し、9時15分に魚釣り競技が始まった。10時45分頃に競技を終了し、事前に設置してあったカメ捕獲装置の引上げを見学



大村知事挨拶

した後、福祉センター集会室において、愛知学泉大学矢部隆教授から「みんなで考えよう！弥富の水辺の外来生物」について講演をいただいた。

その後、一般の部、小学生の部ごとに大物賞(魚のみ)及び大漁賞(魚と亀の数)が表彰された。大物賞の優勝は一般の部25.5cm(コイ)、小学生の部26.0cm(コイ)、大漁賞は一般の部7匹と小学生の部7匹であった。



中野会長挨拶



釣り大会会場

お知らせ ◎農業基盤整備資金の金利のご案内

平成30年12月19日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。金利は金融情勢により変動します。

最新の金利は名古屋支店農林水産事業農業食品第二課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

区分	利率一覧(平成29年12月19日現在)				
	借入期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
県営補助残	0.45%	—	—	—	—
団体営補助残	0.30%	—	—	—	—
非補助	0.30%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.20%	0.20%	0.30%	0.30%

◎研修会のご案内

研修会名	開催日	対象者	研修場所
多面的システム操作研修会	1月下旬	多面的システム利用団体	愛知県土地改良会館 6階 研修室
水土里ネット役職員研修	1月24日	水土里ネット役職員	愛知県土地改良会館 7階 大会議室

迎春

本年もよろしくお願いたします
平成三十一年 元旦

会 長	中 野	治 美	海 部
副 会 長	小 久 保	三 夫	豊 川
専 務 理 事	山 本	信 介	学 識 経 験 者
理 事	山 長	保 男	北 名 古 屋 市 長
〃	佐 藤	幸 正	海 東 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	中 恒	宣 彦	一 官 市 長
〃	浜 片	一 勝	平 和 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	久 神	知 金	孫 宝 排 水 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	山 川	文 万	常 滑 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	中 三	一 郎	愛 知 用 水 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	横 早	健 司	明 治 用 水 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	平 伊	明 三	幸 田 土 地 改 良 区 理 事 長
〃		瞳 伸	矢 作 川 南 部 土 地 改 良 区 理 事 長
代 表 監 事			西 尾 市 長
監 事			豊 田 土 地 改 良 区 理 事 長
〃			設 楽 町 長
			学 識 経 験 者
			十 四 山 土 地 改 良 区 理 事 長
			田 原 市 土 地 改 良 区 理 事 長

事 務 局 次 長	長 加 水	下 藤	仲 吉	二 仁	指 推	導 進	監 監	鈴 横	木 井	啓 弘	之 忠
総 務 部 長 (兼)	異 竹	水 相	秀 啓	光 一	設 管	理 課	幹 監	磯 近	谷 藤	亮	輔 博
事 業 部 長 (兼)	三 長	坂 世	裕 達	司 矢	調 整	主 務	長 務	水 桑	野 山		浩 豊
総 務 課 主 任	伊 佐	藤 坂		紀 守	名 古	支 会	長 務	池 小	田 原		仁 彦
総 務 課 理 課 室	榎 鈴	藤 口	広 利	尚 彦	一 官	支 会	長 務	平 酒	笠 野	和 隆	浩 志
管 計 課 術 門 查 査 課	宇 村	木 美	敏 義	生 忍	海 部	支 会	長 務	山 平	井 本	貴 一	彦 三
計 計 技 專 調 調 整 備	塚	上 本	成	邦 晃	田 崎	支 会	長 務	酒 山	鹿 島	芳	
					豆 田	支 会	長 務	戸 山			
					橋 豊	支 会	長 務				

ほか職員一同